

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2026年度日本陸上競技連盟競技規則および監督会議の申し合わせ事項により実施する。

2 練習及びウォーミングアップについて

(1) 本競技場

- ①大会準備終了後(開会式の時を除く)から競技開始20分前までの使用を認める。
- ②トラック内の芝エリアでは、ジョギング、体操、ストレッチ、ドリルは禁止とする。
- ③ジョギングはトラックの外周を使用すること。
- ④レーンの区分について
 - ・周回1・2レーンは中長距離・競歩
 - ・3～6レーンはリレーのバトンパスを含めた短距離(第4コーナーは禁止)
 - ・ホームストレート3・4レーンは短距離(SD)
 - ・5～8レーンはハードル(JH・YH・80mHの出場選手がいない場合は5・6レーンも短距離とする)
第1コーナーからバックストレートの7レーンは女子400mH、8レーンは男子400mH
※第4コーナーからホームストレートでのリレーの練習および流しは危険なので禁止とする。
- ⑤跳躍種目は競技準備終了後、係員の指示に従って行うこと。
- ⑥投てき種目は、使用不可とする。

(2) サブトラック

- ①跳躍ピットでの走幅跳・三段跳の練習は可とする。(使用後は整備すること)
- ②レーンの区分について
 - ・ホームストレート3・4レーンは短距離(SD) ※ハードルは不可
 - ・バトン練習は1・2レーン ※競技開始の1時間30分前から使用可(それ以外は禁止とする。)
- ③レーンの逆走・横断は絶対にしないこと。
- ④跳躍種目、投てき種目は練習不可とする。

3 招集について

- (1) 招集所は、正面玄関東側に設ける。
- (2) 一次招集(チェック終了)時刻までに、本人または代理人が、招集所に提示した出場者一覧表に、出場の場合は○をつける。その際、トラック種目出場者は、腰ナンバーシールを1枚持っていくこと。
 - ・4×100mRは最終走者のみ
 - ・4×400mRは2・3・4走者のみ
 - ・3000m以上の競技は2枚必要(1枚は胸につける)
- (3) 棄権する場合は、棄権届に記入し、一次招集(チェック終了)時刻までに招集所に提出すること。
- (4) 多種目同時に出場する競技者は、あらかじめ多種目同時出場届(招集所)に記入し、最初の種目の一時招集時刻までに招集所に提出すること。なお、審判員にも申し出ること。
- (5) 招集チェック及び招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなす。
- (6) リレーに出場するチームは、一次招集時刻の1時間前までに所定のオーダー用紙に記入して、招集所に2枚提出すること。
- (7) 招集完了時刻及び招集チェック終了時刻は、次のとおりとする。
一次招集において、出場者は○、棄権者は×印をつけること。

		一次招集(チェック終了)		最終招集(招集完了)	
トラック	競技時刻	60分前	招集所	10分前	スタート地点
投 擲	競技時刻	60分前	招集所	30分前	競技場所
跳 躍	競技時刻	60分前	招集所	30分前	競技場所

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、各自の登録ナンバーを胸部と背部につけること。ただし、跳躍種目の競技者は、胸部または背部の片方だけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーシールをパンツの右横や後方につけること。また、3000m以上の競技については、周回確認用として腰ナンバーシールを胸部につけること。シールタイプのもを用意するが、はがれるのを防止するため安全ピン等で留めること。これらは全て招集所に準備する。(競技終了後、安全ピンは招集所の回収箱に返却すること。)
- (3) 4×100mRの第4走者、4×400mRの第2・3・4走者は、腰ナンバーシールをパンツの右横や後方につけること。

5 競技について

(1)トラック競技

- ①トラック競技はタイムレース決勝とする。
- ②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空けること。
- ③セパレートレーンの競技においては決勝線通過後コーナーに沿って自分のレーンを走り他の走者の妨害をしないこと。
- ④800m競走は第2コーナーの出口までセパレートとする。
- ⑤4×100mRの第2・3・4走者は、マークを1カ所使用することができる。(マークは必ず撤去)
- ⑥4×400mRは第2走者の第2コーナーの出口までセパレートとする。
- ⑦男子5000mは20分、5000mWにおいては、男女共に35分を超えて最終周に入らない場合、競技を続行できない。

(2)フィールド競技

- ①走高跳・棒高跳を除き、3回の試技とする。
 - ②投擲の練習は、審判員の指示以外勝手に練習しないこと。
 - ③跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)にマークを2個まで置くことができる。
 - ④走高跳、棒高跳の練習跳躍および試技開始の高さについては、競技役員の指示に従うこと。
 - ⑤三段跳びの踏切版は男子は10m、女子は8mの地点に設置する。
- (3)スパイクシューズ及び投擲用シューズは競技規則に適合したものとし、招集所ならびに競技場内で点検を行う場合がある。

6 バーの上げ方について

- (1)走高跳の練習の高さ及びバーの上げ方次の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	以後
男子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	+3cm
	1m55								
女子	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m50	
	1m35								

※練習跳躍を男子1m70、女子1m50以上で行いたい選手は、審判員に申し出ること。

- (2)棒高跳については、申告のあった高さで開始する。

7 競技場の退場について

- (1)トラック競技は第一ゲートより退場する。フィールド競技は、審判員の指示に従って退場する。
- (2)正面スタンド前は特別な用がない限り通り抜けないこと。

8 表彰について

各種目第3位までの入賞者に賞状を授与する。ただし、表彰式は行わない。
各団体の代表者は、本部まで取りに来ること。

9 その他

競技をする選手以外は、競技場内に立ち入らないこと。

10 個人情報の取扱及び盗撮防止について

- (1)主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令を遵守し個人情報を取り扱う。
なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (2)大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- (3)大会時の写真・動画については、ソーシャルメディア(SNS、電子掲示板、ブログ、投稿サイト、情報共有サイト等)で掲載及び配信をしないこと。ただし、団体及び個人が、事前に許可を得ている場合はこの限りではない。
- (4)撮影にあたっては、主催者の指示に従うこと。